

終末期ケアの評価を考える

－ 質の高い看取りを目指して－

後援：日本福祉大学福祉社会開発研究所，社会福祉総合研修センター

日本福祉大学終末期ケア研究会は、終末期ケアにおけるケアマネジメントをテーマに、全国調査や事例検討を重ね、アセスメントツールの開発や有用性の検証を通して、質の高い終末期ケアを追究してまいりました。これまで蓄積してきた知見を発展させるために、2012年度より日本福祉大学公募型研究プロジェクト「要介護高齢者の終末期ケアマネジメントに関する実証的研究」に着手しています。

公開研究会では、これまでの研究成果を踏まえながら、改めて終末期ケアの評価を考えます。基調講演では、終末期ケアの質の評価とケアマネジメントについて振り返り、今後の課題を整理します。研究報告では、介護支援専門員を対象にした調査研究、多職種連携に関する文献調査、高齢者施設における日仏比較調査の3題を報告します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日 時：2014年3月1日(土) 13:30～17:00 (受付 13:00より)

会 場：日本福祉大学名古屋キャンパス南館 4階401教室(定員 80名)

参加費：無料

プログラム

13:30-13:40 開会あいさつ

13:40-15:00 基調講演

「終末期ケアの質の評価とケアマネジメント」

近藤克則(日本福祉大学健康社会研究センター長)

日本福祉大学終末期ケア研究会では、どこで最期を迎えようとも、それが質の高いものであることを願い、それを実現するためのケアマネジメントについて研究してきた。提供するケアの質を高め続ける努力のためには、まずケアの質を評価し課題を明らかにすることが必要である。

本講演では、本研究会が明らかにしてきた終末期ケアの質を高める4条件やそれを実現するためのケアマネジメント、終末期ケアの質の評価などについて振り返り、今後の課題を考えたい。

15:00-15:10 休憩

